

# 蛭川 公民館 だより

夏号 令和3年6月1日  
発行 中津川市立蛭川公民館  
TEL 0573-45-2211



## 公民館講座・なんでも塾が始まります！！

令和3年度の公民館講座は6月スタートです。豊かで文化的な生活を実現するためいろいろな講座を用意しました。コロナの心配はありますが、昨年同様、感染対策をしながら、実施していきます。（やむを得ず中断することもあります。）まだ定員に余裕のある講座もありますので、追加の申込み希望がありましたら、公民館までお尋ねください。

## 公民館講座

<b>あじさい学級</b> 第3火曜日 月ごとに楽しいテーマで開催します	<b>あそびの広場</b> 最終水曜日 未就園児対象・親も子も楽しく交流	<b>蛭子座子ども歌舞伎</b> 火・金曜日 17:00～19:00 伝統歌舞伎のすばらしさを体験
<b>文化・歴史・自然散歩</b> 第3土曜日 9:30～11:30 テーマごとに場所を決め蛭川の研究	<b>ウォーキングを楽しむ</b> 第2水曜日 9:00～11:00 幾つかのコースを歩いて健康づくり	<b>土曜スポーツ</b> 第1土曜日 19:30～21:00 大人も子どもも一緒に健康づくり
<b>健康麻雀</b> 第3木曜日 19:00～21:00 4ナシ麻雀で、頭と手の健康維持に	<b>水彩画入門</b> 第2金曜日 13:30～15:30 プレ〇〇もびっくり、貴方も名人に	<b>わらぞうり教室</b> 第4土曜日 13:30～15:30 わらの文化を楽しみましょう
<b>古文書を学ぶ</b> 第4木曜日 9:30～11:30 蛭川の知られざる歴史が明らかに	<b>四季の飾り巻き寿司</b> 第3金曜日 10:00～11:30 かわいい巻き寿司に思わずにっこり	<b>己書幸座</b> 第4火曜日 19:30～20:30 自分の字を額に入れて飾りたくなる

## なんでも塾

（小学生対象、中学生・一般の方が参加できるものもあります。）

<b>茶道</b> 第2土曜 13:00～ 講師：殿塚 遠藤先生, 棚田 熊崎先生	<b>お茶・お花</b> 第3土曜 9:30～ 講師：町切 小田先生	<b>着物の着付</b> 第1土曜 10:30～ 講師：今洞 鷺見先生
<b>学習</b> 第2.4土曜 10:00～ 講師：蛭川ティーチヤーズ	<b>けん玉教室</b> 8月 14:00～ 講師：今洞 国枝先生	<b>いもづくり</b> 第1回は、6月13日 いも植え 講師：奥渡 林先生
<b>星空観察会</b> 8月7日(土) 19:30～ 曾我接骨院の天体ドームで開催	<b>ホタルの観察</b> 時期が来たら、観察・放流します エリアトークで案内します	<b>土曜スポーツ わらぞうり教室</b> 大人も子どもも一緒に塾・講座

# 二宮金次郎と蛭川

昨年、中津川文化会館のお届け公演として上映予定であったにもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で延期となってしまった映画「二宮金次郎」が、復活上映されることになりました。

(文化会館便りで8月上映予定とありましたが、急きょ延期・日時未定です。)



二宮金次郎の像は、「懸命に働き、時間を惜しんで学ぼうとする」姿勢の具体像として各地に設置され、戦前には国策に利用されてきましたが、近年は、歩きスマホを助長する(?)などと言ってその像を撤去するという動きもあります。しかし、一体どのような人物であったかについては、意外と知られていないようです。ここで二宮金次郎(後に尊徳)について簡単に紹介しておきます。

像のイメージとは違い、金次郎は、存外大男でした。彼は、江戸時代後期、小田原藩の人で、災害や父母の相次ぐ死により、少年時代に極めて貧しい生活を余儀なくされます。しかし、そうした中でも生きる知恵を求め、読書に励んだ姿がかの像として象徴されています。そして、金次郎の努力が、その後の人生において、多くの人々の生活を豊かにし、尊敬を集めていくこととなります。

彼は、若い時に武家の下働きに入って、やがて目をかけられるようになり、次第に責任ある仕事を任されるようになっていきます。更には、年貢に苦しみ飢饉に喘ぐ貧しい村々のために、生産力の向上や生活改善に取り組むこととなり、ついに

は誰もなしえなかったような成果を次々と上げていきます。金次郎には、農村の生産状況を洞察する深い観察眼があり、どう考え何を変えたらよいのかという確かな理論と方法がありました。自分の生き方から編み出してきた経済論をもち、彼の倫理観には、武士の世の中の限界をも視野に入っていたのではないかと感じさせられます。ここには、かつての国策とは異なるむしろ改革者のイメージが浮んできます。

蛭川には、縁があります。明治初め、苗木の鈴木三蔵が役場の火事見舞いに持ってきた「二宮夜話」という本に瀨瀨秋三郎が感化され、「報徳」という二宮尊徳の思想を村づくりに生かそうとしました。そして「安弘見報徳社」がつくられ、当時の主だった人々が、さまざまな活動(産業、教育、宗教等)に取り組みます。村史に、「報徳哲学は、神国教となって精神的に生きている。」という言葉が引用されているように、報徳社の大家であった内務省の井口丑二によって、当時の村の精神的な支柱となる神国教に至ります。こう



神国教北の山上に祀られています。

した関係が、この映画の蛭川での上映にも結びつきました。

今年の大河ドラマの主人公渋沢栄一にもつながる人物として注目される映画「二宮金次郎」をお楽しみに。

## 映画上映延期

編集子

映画「二宮金次郎」  
コロナの影響を考慮し急遽延期となりました。上映日が決まりましたらお知らせします。

先日の資源回収、これまで雑紙としてゴミになっていた紙が、きちんと束ねられて出されるようになってきたそうです。▽最近SDGsという言葉をよく聞きます。持続可能な社会づくりをめざした国連の17の目標ですが、身近なところでもゴミを減らして資源にし、むやみにものを燃やさない生活が浸透してきているようです。▽コロナにしても、遠くで発生したことが身近なところに影響してきます。良いことも悪いことも響き合っています。今の私たちの文化(生活)がつかわれます。

